

## 令和7年度 第1回 遊佐町総合教育会議 議事録

会議日時 令和7年8月25日（月曜日） 午後6時30分  
会議場所 遊佐町役場 第3会議室  
開会時刻 午後6時30分  
閉会時刻 午後7時43分  
出席者  
・構成員 遊佐町長 松永裕美  
(教育委員会) 教育長 土門敦、教育長職務代理者 石川茂穂、  
委員 齋藤敦子、委員 土門宏典、委員 松本三也  
・説明調整員 総務課長 鳥海広行、企画課長 渡会和裕  
・事務局 教育課長 荒木茂  
教育課長補佐兼文化係長 友野毅  
総務学事係長 曽根原優  
学校指導係長兼指導主事 佐藤尚  
社会教育係長 菅原悠

協議事項 (1) 令和6年度教育委員会事務点検・評価報告書（案）について  
(2) 物価高騰重点支援地方交付金事業について  
その他 (1) DX推進事業について  
(2) 遊佐パーキングエリアタウン（新道の駅）整備事業について  
(3) 2025年度 遊佐町国際交流事業 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣事業

### 協議内容の大要

荒木 それでは皆さん大変お忙しい中、また本日は大変暑い中でしたけれどもご参集賜りまして、大変どうもありがとうございます。  
教育課長 それではただいまより令和7年度、第1回遊佐町総合教育会議を開催いたします。  
本日、この会議の後、教育委員会協議会、それから教育委員会会議の方も予定しておりますので、この総合教育会議は会議終了時刻を、7時30分の予定としておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。  
それでは初めに松永町長よりご挨拶をお願いいたします。

松永町長 皆さん、こんばんは。今日は第1回遊佐町総合教育会議という、とても遊佐町にとって大事な、肝となる会議だと私は考えております。おかげさまで杉沢比山、去年はできなかつたんですけども、今年は皆さん本当に喜んでくださる杉沢比山が無事終わりまして、一昨日と昨日でSEA TO SUMMITも終わりまして、あと遊佐町音楽祭も終わりました。次々と色々な行事がございますが、遊佐町においては、今回このように資料がありますが、またとても素敵な演奏者の方が来てくれたりとか、様々なイベントが企画されておる中、やはり一番大事なこの教育部局との協力についてはこの場でしっかりと皆様と議論できたらなと思っております。今日は時間が少しタイトですが、色々またご意見など頂戴したいと思っておりますので、色々ご指導よろしくお願ひいたします。  
ではよろしくお願ひいたします。

荒木 はい。どうもありがとうございました。協議に入る前に名簿の説明をさせていただきます。  
教育課長 皆さんにお配りの会議次第の次のページ、裏面の1ページをご覧いただきたいと思います。本会議の構成員につきましては、法律の規定通り、町長とそれから教育委員の皆様というふうになっております。この次のページ、2ページ目の方に遊佐町総合教育会議運営要綱を入れさせていただいておりますが、首長部局の連携も考慮しまして、こちらの第4条第2項に規定する説明調整員として、総務課長、それから企画課長にも出席をお願いしておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは協議の方に入っていきたいと思います。協議の座長につきましては、本要綱第3条、会議は町長が招集し、その座長となるとございますので、松永町長よりお願ひいたします。

松永町長 はい。それでは、早速会議を進めさせていただきます。

まずは（1）令和6年度教育委員会事務点検・評価報告書（案）について議題とさせていただきます。

事務局より説明をお願いしたいと思います。

曾根原係長 資料により説明

松永町長 はい。ありがとうございました。それでは、今説明いただきましたが、皆様から何かご質問又はご意見などございませんでしょうか。

松本委員 これは最終的には外部にも出す資料ですよね。細かい部分を指摘するのは大変申し訳ないのですが、全体的に取り組みは大変良好だったと思います。ただ、文章的に、P30の今後の方向性というところですが、2行目、地域にかかわる小学生や高校生を深める工夫、これは高校生との交流とか連携を深めるという意味ではないですか。

あと、P46事務・事業の内容のところ、各項目ごとに令和5年度の比較として回数が書いてあるのですが、令和5年度を括弧書きで書いているんですが、その前が6年度の数かなと思うんですけれど同じ回数なんですね、全項目。6年度の回数がちょっとわからないんですが。これが2点目。

色々な所で出てくるのでここ1か所だけではないんですけど、P50のところの事務事業の内容のところ、4行目になるんですけれども、「今年度から空き校舎を活用し、」っていう文言なんんですけど、5年度の比較としての6年度なものですから、今年度って言われると、どっち言っているのかわかりにくいというのもあるんで、6年度だったら6年度とした方が読む方は分かりやすいのかなと思いました。

あと、色々な事業に対しては本当に素晴らしい実績だと思うので、そのところは本当に感謝したいと思います。

松永町長 はい。まずP30のところの2行目、小学生や高校生を深めるではなくて、交流とかを入れた方がいいんじゃないかというところと、P46の令和5年と6年のところ、P50の今年度をわかりやすく令和6年度とした方がいいんじゃないかというところで、お願ひします。

佐藤係長 ご意見ありがとうございます。中学生の地域連絡員を発端としまして、そこから小学生、

高校生と交流を深めていくというニュアンスですので、そちらの文書に替えさせていただきたいと思います。ありがとうございます。

菅原係長 まず先にP46の方、数字の方が訂正なっていなかったようでしたので、修正して差し替えたいと思います。P50の表記の仕方、今年度、次年度もちょっとやはり分かりづらいので、こちらの方も記載を直すようにして差し替えたいと思います。ありがとうございます。

松永町長 ご意見ありがとうございました。ここをプラスシュアップすると形になった冊子になるとと思います。では次に何かございますでしょうか。

石川委員 P43の方なんですけれども、スクールバスの件についてなんですが、熱中症対策として夏休み前後の3週間ということで、一部を対象にということですけれども、一部の地域というのはこちらの方で指定した一部の地域ということで、乗りたい人が全員乗れるという訳ではないんですね。

曾根原係長 距離を基準に一定程度線引きをさせていただいた中で、対象集落の方に乗っていただいたというところでございます。

石川委員 全員がスクールバスを利用するなんていうことは、今の現在それはちょっとできないのでしょうか。

曾根原係長 全員を乗せるとなるとどうしてもバスの乗車定員を満たした状況で乗せるのは難しい状況になりますので、できれば歩ける範囲の子どもたちには、クーリングシェルターなども活用していただきながら、歩きでお願いしたいと現時点では思っているところです。

石川委員 熱中症対策としてはそれがいいんじゃないかと思うのですが、例えば、まだそういうことは無いんですけども、最近は被害がすごいということで、熊が町内、街中に出てきたりとかそういうことがあった場合に、見守り隊の方々に勿論協力はいただきながら、登下校を見守るということになると思うんですけども、そういう時にスクールバスを利用したりということも、もしかしたら出てくる可能性はないのかなと思ったりもして、そういうところも想定しながら考えていただけたらありがたいかなと思いました。

曾根原係長 熊対策でのスクールバスの利用というお話になりましたけれども、どこで出たかとか対象となる児童生徒がどれくらいいるかというところで、その児童生徒を全員乗せることができるかどうかというところが出てくる訳ですけれども、命にも関わる部分でもありますので、可能な部分がございましたらこちらとしても検討はしていきたいと思っております。

石川委員 人を襲ってくる熊もいて危険かなというのもあるので、臨機応変に対応できるよう考えていただければと思います。

松本委員 すみません、今の件に関してですけれども、できる範囲でというお言葉でしたが、10年近く前だったか松山地区の地見興屋小学校で、学校前の道路の清川の方200m先に熊1匹出たということで、ほとんどスクールバスで対応しました。ですから、やっぱり出来ないって

は言えないんじゃないかなと思うんです。大変なのは分かるんですけど、子供の命に関わることなので、極力やってもらうしかないのかなって思いますし、P43 の新入生入学後の 1か月間は、特別支援教育支援員さんが添乗するということでなっていますけれども、結局、自分の通学路の停留所で子供は降りる訳ですよね、1年生。当然、親御さんは来れないと思うので、お爺さんお婆さんが迎えに来ていると思うんですよ。多分。その辺の把握もしっかりとおかないと熊出てきた時には、全く対応できないので、そこは今までの施策では通用しないんじゃないかなと思うんです。こんなに熊がいっぱい出てくると。ですから当然そこは保護者からも協力してもらわないとダメなんですけれども、1年生は学校に慣れるためというので最初の 1週間は給食無しで、その後の 1か月間は給食を食べてから下校という形をとっていると思うんですけど、今後どういう形がいいのかこれから考えていかないところだけ熊が出ているので、降ろしたところに熊がいたなんてはやはり言ってられないもんですから、十分検討しながら進めていただければありがたいと思います。

松永町長 石川教育委員と松本教育委員がおっしゃるとおりだと思いながら拝聴していました。町といたしましても、後でまた教育長にも発言いただきますけれども、まずはスクールバスの対応は勿論なんですけれども、実を言うと最近ではやはり自分の子どもは自分で守ろうという、例えばメールで緊急の場合ですけれど、熊が出たぞとなったら確かに全部発信をして、それで家族も父兄も全部迎えに来れるかは微妙なんですが、やっぱり町がこれから子供たちの命を全部保証するという考え方よりは、一体となって大事な大事なお子様でありますので、そのあたり議論をしていかねばと思っております。やっぱり出来ないことを出来ると言うことも町として、どうしても運転手さんの成り手不足とか人材確保とか、ハード面のバスの用意とかありますけれど、本当に気持ちは皆同じだと思いますので、教育長にそのあたりまとめていただければ。

土門 教育長 まとめる前に、今の熱中症対策のバス、明日からまた始まるんだけれども、どこの集落に行っているか言ってください。

曾根原係長 下長橋と野沢方面です。

土門 教育長 まず、今のように線引きをするとなった時に、2キロ未満ではっきり何点何キロとは線を引けないので、まず2キロ未満のところで線を引いて、このようにして対応させてもらっています。このやり方が、今の段階ではまず夏休み前の1週間、休み後の1週間というところで3週間を目途にさせてもらっていますけれども、例えば石川委員の全員をバスに乗せるという、これができれば一番いいのですが、遊佐のバス停で乗って境田で降ろすと、子供が乗ったけれども家を過ぎてバス停の方が遠かったりとか色んなことが起きるんですけども、まずそういうようなことも含めて、今の段階での一番ベターな方法として今やらせていただいているんですが、今、熊対策とかそういうふうな話になってきた時に、まずは子供が学校にいる時は学校が一番安全な場所だという考え方です。去年の水害もそうですし、今年の熊もそうです。何かあった時にスクールバスに乗せて帰す、いくら見守り隊や祖父母が居たとしてもやっぱり一番安全なのは学校だという捉え方で、さくらメールで発信して「こういうことが起きましたので迎えに来てください」とこれが一番いい方法だと思っていて、何かあった時には学校が一番安全な場所として保護者から来てもらいながら、来てもらえない時は色々連絡を取りながらっていうような対応をこれからもやっていこうと思っています。避難

場所も垂直避難とか、熊だろうが水害だろうが非常災害なことがあつたら、不審者だとか、とにかく上の方に逃げて、そしてバリケードを造つたりしながら、そういう考え方で町の校長会で見解を統一しています。何か災害が起きた時には、災害対策本部と教育委員会とそして学校と縦の連携、そして学校同士の横の連携を強めようということで今年度早々にまずはつきりと確認をさせていただきました。これからも命を守ること、そして、可能な限りできればいいんですけれども、どちら側のニーズも可能なところを探りながらやっていきたいと思います。以上です。

松永町長 実は遊佐交番さんと連携をしておりまして、熊とか緊急の場合には、まずパトカー出動とか、すぐに我々だけではという時は必ずや力になってくれますので。まず、おしゃっていたいってよかったです。

土門  
教育長 子供が降りて熊がいたなんて、そんな状況が大変な時に、見守り隊とかお爺ちゃんお祖母ちゃんがいた時に、そっちの方が逆に町民の命の方で心配もある。学校に居る時はいいんですけども、降ろす前に熊が出てきたら降らせない訳ですよ。もうそこはバスの運転手さんにすぐに連絡をよこしていただいて、その判断はこちら側でしていくということだと思いますので、状況は全て違うので臨機応変な対応力というか、現場で対応していることはいいのですが、どうしてもダメな時は立ち止まってもらって、連絡をよこしてもらうということだと思っております。

松永町長 本当に大変な時代に突入して参りました。はい、その他、大丈夫でしょうか。  
はい、では次に進めさせていただきます。  
それでは今度は（2）物価高騰重点支援地方交付金事業についてを議題といたします。  
事務局からご説明をお願いします。

曾根原係長 資料により説明

松永町長 ありがとうございました。それではこちらの物価高騰重点支援地方交付金事業について、皆様からご質問やご意見ありましたらお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

石川委員 これは単年度の事業ですか。

曾根原係長 はい。今のところ、国の補助を活用した事業ということで、単年度で予定はしておりますけれども、次年度以降、もし国の補助がない場合にやるとなった場合には、町の持ち出しで行うということになりますので、そこについては、もしやる場合は財政サイドと協議をした上で進めるということになると思います。

町長 ほかにございますか。

齊藤委員 ご家庭の収入には関わりなく、全員ということですか。

曾根原係長 はい、そのとおりです。

町長 いつも頑張って働いている人たちが、なかなか貢えてなかつたりするところで、今回は全員にさせてもらいました。

ほかに大丈夫でしょうか。では、こちらの方はこの形でよろしかつたでしょうか。

では、次に進めさせていただきます。ご協力ありがとうございます。

それでは次は、その他といたしまして、DX推進支援事業につきまして、総務課長より説明をお願いいたします。

鳥海 資料により説明  
総務課長

松永町長 ありがとうございます。ここからは教育課長が担当になりますので、よろしくお願ひします。

荒木 すみません、その他になりますので、ここからは私の方が進行になります。

教育課長 今の総務課のDX推進支援事業についてのご説明、何か質問等ございますでしょうか。  
石川委員何かございますか。

石川委員 漆すぎて。我々の頃はカブトムシを取りに行ったりとかそういう世界だったのに、全然違うなと。今の子どもたちの夏休みは。

土門 本当に素晴らしい取組みだと思います。1年生から3年生までということで、本格的に学ぶ前の段階での子どもたちに興味関心をという、そういうコンセプトで、これからも回数は多くなくていいので続けていければと思います。教育課でも小学校1、2年生のEnglish Summer Campということで3回やらせていただきましたけれども、10人の参加でしたけれども、また来年度もそういう形でできれば、英語を学ぶ前のコミュニケーション能力とか、アウトプットの練習とかを体験してもらうということで、そういうことが重ならないで提供できる場になればと思っておりました。

荒木 特に協力隊の皆さんから、職員の手が回らない部分を頑張ってもらっているのかなということで。はい、よろしいでしょうか。

教育課長 それでは、(2)にあります遊佐パーキングエリアタウン（新道の駅）整備事業についてと(3)2025遊佐町国際交流事業 姉妹都市ハンガリー・ソルノク市派遣事業、こちら続けて企画課長よりご説明をお願いします。

渡会 資料により説明  
企画課長

荒木 はい、ありがとうございます。その他の(2)、(3)とそれからハンガリーコンサートと説明いただきましたが、何か皆さんからご質問、ご意見等ございますでしょうか。

齊藤委員 すみません、この夏あまり暑いですから夏休み中、なかなか子どもを外で遊ばせる、外のプールに連れていくとかできなくて、ついつい屋内の施設に行くことが多かったです。今年鶴岡のソライに行ってきました。そうしたら、1日3回の時間帯があつて、ほぼ満

員だったそうです。空調がなされていて、上が遊具施設、下が工作室みたいになっていて、2時間十分遊んで帰るんですけれども、それを体験した時に遊佐町の子どもセンターを思い出しました。なかなか中の遊具を取り替えるとか遊びの質を変えるっていうのがなかなか出来ていないので、遊佐町以外の人が来るっていうのがなかなか出来ていないのかなと思った時に、例えば規模だとか駐車場だとか考えた時、私が町の財政のことを全然分からぬでただチラッと思ったのが、この高速道路全面開通する前のこの施設に、お客様を呼んで遊佐町のものを買ってもらう時に、ここにソライがあつたらいいなと。親子連れが来てくれて、子どもたちが遊んで帰る時に遊佐町の物を買って帰ってくれたらいいなと思った次第です。それで、できれば今の子どもセンターを学童に開放していただきたいと思ったんですけども、すぐには出来ないことなので、いつかお金があった時に出来たらいいなというご提案でした。以上です。

荒木  
教育課長

はい、貴重なご意見として頂戴いたしました。ありがとうございます。学童の方が、子育ての方と色々検討を進めておりますので、その辺も整いましたら皆様の方にもご説明していきたいと思っております。

その他、何かございますでしょうか。

土門委員

要望みたいになってしまふんですけど、音楽祭に息子のヴァイオリンのやつで行ったんですけども、普段は聴くだけなんですが、娘の別の関係で僕がバックヤードの方について行つたんですけど、バックヤードの方とか古くなったりして、エアコンも効かなくて、リハーサルの時に息子が熱中症みたくなっちゃったらしいんです。あれだけ暑くて施設もかなり老朽化している中で、こういう海外からとか来たりするので、そのあたり、町の人とかが発表するのはまだいいのかなと思うんですけども、外から割と有名な演奏家の方とかが来たりして、そのバックヤードがあれで大丈夫なのかなと、ちょっと思ってしまう部分があったので、そのあたり、設備が古いのはしょうがないかなと思うんですけども、対外的に人を呼ぶ設備のレベルになるのかどうか心配になりました。エアコンはたまたまその時壊れたのかもしれないんですけども、すごい暑くて効いているのか怪しいレベルだったので、そのあたり、いっぱい呼ぶのはいいことですけれど、呼べる体制も気にしなきゃいけないと感じました。

荒木  
教育課長

はい、ありがとうございます。係から何かありますか。

菅原係長

ご意見ありがとうございます。ホールの空調なんですけれども、以前より騙し騙し使っていたというところがありまして、直すとか交換するってなりますとやはり金額がすごくかかってしまうというところで、今年度生涯学習センターが建築されてから50年経ったというところで、改築検討委員会を立ち上げたいと思っております。建築まではまだ時間がかかると思うんですけど、どういった建物がいいか、委員にどういった方を入れるか等含めて、皆さんよりご意見いただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

齊藤委員

できれば、小学校、中学校の体育館にもぜひエアコンをお願いいたします。

荒木  
教育課長

はい、特に空調関係は今、本当に深刻な話題で、昨日も暑かったという声を聞いておりまので、まず今出来るところはしっかりとメンテナンスをしながら、今度、町民体育館とか小

中学校の体育館ということで、本当に暑いと何も活動ができないという、あっても結局使えない施設ということになってしまいますので、そこはしっかりと対策をとっていきたいと思います。今年小学校の体育館の遮熱フィルムを貼ったというところで、ちょっと4度くらいは抑えられるという話もありましたけれども、そういういた断熱的なものを含めながら、次の段階では冷房ということで、冷房効率が良くないとエネルギーだけ消耗してしまうということにもなりますので、段階的にそういうところも進めて参りたいと思います。

ありがとうございます。

土門  
教育長

中学校はスポットクーラー2台、米沢の件があつて、その次の年に知事のひと声で入りましたが、結構効きはいいです。

荒木  
教育課長

はい、ありがとうございます。その他、ご意見の方はございませんでしょうか。

それでは皆さん、大変慎重審議どうもありがとうございました。ご意見を活かしながら今後、教育行政を進めて参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上を持ちまして、第1回遊佐町総合教育会議を閉会とさせていただきます。どうもお疲れ様でした。